

○令和元年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「フレンズ オブ ザ ワールド」(R1.6.29 (土)～6.30 (日))



◆目的

外国に興味のある日本人と、近隣に居住する外国人や CIR 等との交流を通して、生活習慣や食を通して異文化についての興味関心や理解を深める機会とする。

◆参加実績 (募集20名) 参加15名

参加内訳

【年代別】

- ・高校生 13名
(旭川市内の高校…… 11名)
(上富良野町内の高校…2名)

- ・一般 2名

【男女比】

- ・男 1名
- ・女 14名

◆プログラム

① 講義「文化紹介」 (60分)

東神楽町教育委員会 教育推進課 国際交流員

リェーン・ジーン 氏

- ・参加者同士の交流促進や国際交流レベルを共有するためのアイスブレイクを行い、和やかな雰囲気スタートすることができた。
- ・講師が今まで居住していたことのある国「台湾」「ニュージーランド」の紹介を行って、日本との違う文化に興味・関心をもつことができた。



② 実習「世界の食卓」 (150分)

「ホームパーティ」 (120分)

東神楽町教育委員会 教育推進課 国際交流員

リェーン・ジーン 氏

- ・講師の出身国であり、日本人観光客も多い「台湾」の料理を作った。その国独自の味付けや食材などを取り入れたり、宗教等による食文化の違いに触れたりしながら、食でも異文化を感じることができた。
- ・食事を作ったあとは、講師の先生を交えての会食を行い、打ち解けた雰囲気の中で質問をし合うなどの場面が見られた。



③ 講義「文化紹介②」・・・・・・(60分)

東川町交流促進課 インドネシア国際交流員 ファティ・シティ・ファティマ 氏
東川町交流促進課 韓国国際交流員 キム・ダユン 氏

- ・講師の出身である「インドネシア」「韓国」について、食文化を中心に紹介されたスライドを観たり、質問をしたりしながら、なごやかな雰囲気の中での交流を行った。



④ 発表「おもてなしの心」・・・・・・(60分)

- ・前日に講師からの文化紹介を受け、参加者の住む地域のおすすめできる「おもてなし」を発表し、交流し合う活動を行った。講師からのコメントや質問をもらったり、参加者同士の情報共有などもしることができた。

⑤ 実習「ハイキング」・・・・・・(60分)

- ・美瑛の観光スポットである白ひげの滝までのハイキングをしながら、活動を通じた交流を図った。



◆成果

- ① 各国の文化の違いを知ったり、体験したりすることを通して、生活習慣や食文化など、異文化についての興味をもつきっかけとなった。
- ② 外国について、今まで自分が持っているイメージとのギャップに気付くことができた。
- ③ 交流を通して、政治的な絡みなどが関係ないコミュニケーションを図ることができた。

◆参加者の声

- ・国際交流で、初めて知ることもあるし、友達もできて楽しかった。
- ・自分たちで料理したり、グループで活動したりすることで、仲が深まったと思う。
- ・海外に興味があっても、外国の方との会話する機会がなかったため、今回参加しました。他国の文化も知ることができて良かった。
- ・高校生が多く、フレッシュな雰囲気の中できたのがよかったです。講師の先生が優しく接してくれて話もできてとても為になりました。
- ・また、交流の家でイベントがあれば参加したいと思う。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・関心の高いと思われる「食」についてをテーマに設定したことで、国際交流への関心度合いの違いに対応できた。
- ・国際交流に求めるニーズがそれぞれであるため、それに応えるようなプログラム展開の工夫が必要。

◆事業運営費 合計 33,503 円

講師旅費・・・・・・10,480 円

消耗品費・・・・・・23,023 円